

2010 年度 小委員会活動成果報告

(2011 年 2 月 14 日作成)

小委員会名	光環境シミュレーション小委員会	主 査 名：鈴木広隆 就任年月：2009 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学本委員会 (光環境運営委員会)	委員長名：佐藤 仁人
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2013 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>本小委員会は、測光量シミュレーションの計算精度向上に加え、その他の光や視覚が関わる環境にもシミュレーションの範囲を広げ、設計の場で光環境シミュレーションを普及させることを目的としている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●初年度：昼光シミュレーション WG は、天空輝度モデルの検討、計算精度の検討、ニーズの把握を行い、輝度・可視性シミュレーション WG は、様々なシミュレーションの可能性の検討を行う。 ●2 年度：昼光シミュレーション WG を中心として、昼光シミュレーションを一般に普及させるための実習的な公開研究会を行う。 ●3 年度：昼光シミュレーション WG は公開研究会の結果を整理し、今後必要とされるシステムの要件をまとめる。輝度・可視性シミュレーション WG は、光・視覚が関係する様々なシミュレーション対象のマトリクス化を行う。 ●4 年度：輝度・可視性シミュレーション WG を中心として、光・視覚が関係する様々なシミュレーションを紹介する公開研究会を行う。 	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：公募したが応募はなし 鈴木広隆(大阪市大)、岩田朋子(九州共立大)、上谷芳昭(京都大)、大井尚行(九州大)、中村芳樹(東工大)、原直也(関西大)、三木保弘(国総研)	
設置 WG (WG 名：目的)	昼光シミュレーション WG (天空輝度モデルと計算精度の検討、ニーズ把握) 輝度・可視性シミュレーション WG (様々なシミュレーションの可能性の検討)	
2010 年度予算	58,000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス： http://graphics.arch.eng.osaka-cu.ac.jp/daylight/

項 目	自己評価
委員会開催数	1 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1 回(公開研究会「光環境シミュレーションの可能性」) 主催：光環境シミュレーション小委員会、共催：日本図学会、協賛：照明学会光環境研究専門部会、2011 年 3 月 5 日(土) 13:30-16:45、建築学会建築会館会議室
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	当初は昼光シミュレーション WG を中心とした公開研究会を第 2 年度に実施する予定であったが、順番を変え、輝度・可視性シミュレーション WG を中心とした、様々な光・視環境シミュレーションについて情報交換を行う公開研究会を実施するよう変更した。本公開研究会は実施に向けて順調に準備を進めている。全体としての達成度は 90%。
委員会活動の問題点・課題	割り当てられている予算が、メンバー全員が集まれる交通費に満たないため、委員が相互に遠慮してしまい使いにくい。

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。